

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 月 日

事業所名: 児童発達支援みらい みらいplus

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個別療育、小集団療育ともに子ども1人当たりの床面積の基準を満たし、十分に活動できるスペースを確保しています。 災害時には安全に避難ができるように空間を確保しています。	「はい」33人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」0人 「わからない」0人 とても広いと感じる。	今後も引き続き安心安全に活動できるように工夫を重ねていきます。
	2 職員の適切な配置	個別療育は子ども1人に対して職員が2人、小集団療育は子ども5人に対して職員が3人で療育を行ない、指定基準以上の職員配置をしています。	「はい」32人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」2人 みらいでの様子を見ていないのでわからない。 十分と感じる。	今後も引き続き、個々に対して細かな支援が行なえるように適切な職員配置をしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	机上の課題を行なう場所、遊ぶ場所、運動をする場所、自分の荷物を管理する場所など施設内は構造化を心掛け、どの場所で何をするのかを明確に伝えています。 また、写真や絵カードを使って視覚的に活動の流れや持ち物の片付ける場所などを伝えています。 自分の椅子や棚には好みに応じたマークを用いた視覚支援ツールも使用しています。	「はい」27人 「どちらともいえない」4人 「いいえ」0人 「わからない」4人 個別マークを作ってくれたり、靴の置き場に靴マークがあり配慮が見える。	今後も活動スペースの構造化を目指し、児童が快適に、かつ、安心して活動できるように多角的な視点で見直していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、活動後には掃除、消毒をし、常に清潔を保つようにしています。 新型コロナウイルス感染拡大防止、感染予防のために個別療育後には毎回、消毒と換気を行なっています。 また、安全に活動できるように活動空間が広がるように心掛けています。	「はい」32人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」2人 清潔感を感じるし、トイレもスムーズに使用できる。	今後も引き続き、安心安全に過ごせるよう、掃除、消毒、換気を徹底します。
業	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	普段から職員間のコミュニケーションを大切にし、意見を出しやすい環境を心掛けています。 関係する職員全員で個別支援計画に基づいて計画→実践支援→評価→改善→計画を行い、次の課題へのステップアップを討議する時間を設けています。		今後も引き続き、職員全員で、支援の振り返りや改善を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
務改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在のところ行っておりません。		今後、必要であれば、実施検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	知識、技能向上のために毎月テーマを決めて内部勉強会を実施しています。新人研修もしっかりと時間を確保しています。また、研修の案内を掲示し、職員の自己啓発への支援を行なっています。		今後も、勉強会や研修などを積極的に取り入れ、職員全体の資質向上を目指していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用開始から保護者様から聞き取りをし、困り感を現状把握したうえで課題を客観的に捉えて個別支援計画を作成しています。	「はい」34人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」0人 親のニーズや子どもの状態を踏まえて支援計画を作成して頂きました。本人の様子をよく見て作成されていると思う。	今後もこれまで以上に各関係機関との連携をはかり、常に新しい情報を聞き取り、本人や保護者様の気持ちに寄り添った個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメント、保護者面談、本人や保護者の希望や願いを総合的に勘案し、個別療育を中心に個別の課題と運動療育等を含めた集団活動を組み合わせて計画を作成しています。		今後も個別・集団からの手立てを組み合わせ、ひとりひとりに合わせた個別支援計画を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画に基づいた個別支援計画書を作成し、支援の際の具体的な取り組みや手立てを分かりやすく記載しています。	「はい」32人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」2人 幼稚園とも連携して頂けるとありがたいです。設定されていると思う。	今後の確かな目標と具体的な手立てを示した分かりやすい支援内容を記載していきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	相談支援事業所で作成された利用計画書と個別支援計画を熟考し、担当者を中心に話し合い、職員間で共通理解をし、計画の内容に沿って支援を行っています。	「はい」33人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」1人 計画に沿って行なわれている。	今後も今以上に計画に沿った支援が出来るかを常に職員全員で確認していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	個々の特性に合わせた個別プログラムと児童同士と一緒に集団活動を行なえるプログラムを職員全員で相談し、立案しています。		今まで以上に話し合いの時間を増やし、職員全員でのチーム支援を目指していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日も長期休暇も同じ利用時間になっています。 長期休暇中はリズムが崩れる児童もいるので状態に応じて課題の内容やスケジュールを調整しています。		今まで以上にきめ細やかな支援を行なうように努めていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1日のスケジュールは大まかな流れを決めています。その中で個別の課題学習は固定化しないように変化をつけています。 小集団療育では、子どもたちの興味がある事柄や季節感がある内容を取り入れたり、同じプログラムでも少しの変化をつけたりして活動プログラムが固定化しないようにしています。 また、職員全体で意見交換を交え、活動の固定化を防いでいます。	「はい」28人 「どちらともいえない」3人 「いいえ」1人 「わからない」3人 子どもの気持ちを一番に考えてくださり臨機応変に行なってくださってます。 本人の様子を見ながら色々なプログラムを行なっている。	子どもたちが今どんなことに興味があるのか、プログラムを楽しんでいるのか、また、現在のプログラムが個々の発達段階に合っているのかなど、今後も職員全員で活動プログラムが固定化しないように、多角的な視点からプログラムを考えていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	個別療育、小集団療育ともに担当者が中心となりその日の役割分担や支援内容を決め、職員全体で内容を確認しています。		支援開始前のミーティングを毎日行なっているが職員全員が参加できない時が時々あるので、全員が参加できる時間を取れるようにしていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に当日の活動の流れや支援に対して気になった事やいつもと違った事を振り返っています。また、振り返りノートを利用して職員間の情報共有を行なっています。		今後も今まで以上に職員全員で些細なことも情報を共有し支援の振り返りを行っていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録の取り方を研修項目に取り入れ、正確な記録を取るよう努めています。また、実施した課題について職員間で精査し、次回の療育に向けて改善を行なっています。		今後も支援内容や手立てを検証し、次回の支援について改善を行っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年に2回以上モニタリングを行い、計画の見直しや改善、手立ての変更などを実施しています。 また、利用者の状況に応じてその都度、職員間で話し合いを見直しが必要であれば保護者と相談して個別支援計画の変更をしています。		引き続き、モニタリング内容を職員間で熟考し、計画の見直しや改善を行っていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	会議がある時には、子どもを継続的に見ている担当職員が担当者会議に参加しています。 会議で得た情報や意見交換の内容は会議終了後に職員全員で情報共有しています。		今後も児童発達支援管理責任者を中心に、そして常日頃から子どもを継続的に見ている担当者が会議に参画できるよう体制を整えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	同会社の児童発達支援みらい、みらいPlusからは保護者の同意を得た後に、情報の共有を行っています。 保育所、幼稚園との連携は現在のところとれていません。		同会社との情報共有だけでなく、各連携機関との情報共有や連携に積極的に努めます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			今後も問い合わせがありましたら、これまでの支援内容や経過・改善点などを提供できるよう、真摯に応じる体制を整えていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	当事業所で支援内容や支援方法について討議した結果、専門機関の意見が必要と思われる時は、専門機関に相談をし、助言を受けています。 研修につきましては可能な限り参加する体制を整えています。 今年度は、新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加が難しいため内部研修を多く行ないました。		今後も社内研修や専門機関での研修にも可能な限り参加していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在のところ交流などの機会を設けていません。	「はい」3人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」10人 「わからない」20人 幼稚園と並行通園のため問題ありません。	今後、機会があれば検討していきます。 現在のところは必要性がないと判断しています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在のところ地域交流の機会を設けていません。		今後、機会があれば検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に利用契約書や重要事項説明書にて利用者負担についての説明を行っています。 また、利用者からの求めがあれば随時説明を行う体制を整えています。	「はい」35人 「どちらともいえない」0人 「いいえ」0人 「わからない」0人 契約時に説明があった。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画を作成したり変更したりした時には支援計画書の内容(目標と手立て)を保護者様に説明しています。	「はい」33人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」0人 「わからない」0人 毎回、活動内容を書面で確認できるのが良い。	今後も分かりやすい言葉で丁寧な説明を心がけます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングトレーナーの資格がある専門家が年に数回実施しています。 みらいのブログやご利用者様にはお手紙を配布して開催日をお伝えしています。	「はい」28人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」1人 「わからない」4人 定期的実施されていて内容も充実しており勉強になります。 参加したことはないが行なわれている。	日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てができるよう支援する保護者向けプログラムを今後も伝えていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳などを利用して子どもの様子や発達の状況、今後の課題についてなど気づいた点や確認したい事柄の情報を共有するように心掛けています。	「はい」34人 「どちらともいえない」1人 「いいえ」0人 「わからない」0人 子どものことをよく見て対応して下さっています。 連絡ノートや口頭で伝え合っている。	今後も日々の送迎時でのやりとりや連絡帳などをうまく活用して情報共有、連携の徹底を心がけます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合にはスタッフ全員で情報を共有し迅速に適切な対応を心掛けています。必要に応じて保護者面談も随時行っています。 また、2020年秋から「みらいcafe」をオープンし、いつでも気軽に相談できる場を設けています。	「はい」27人 「どちらともいえない」5人 「いいえ」1人 「わからない」2人 連絡帳などで、その都度、助言などをしてきています。 連絡ノートに困り事を書くとその都度助言をもらえる。 先生によって偏りがあるように思えます。	相談に対して適切な対応と助言が出来るよう職員全員の知識や技能を高め、保護者様へのレスパイトケアの質の向上に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
・ 連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会や父母の会は実施していませんがペアレントトレーニングなどの勉強会に参加した保護者同士が交流を持てる場を設けています。	「はい」4人 「どちらともいえない」3人 「いいえ」12人 「わからない」15人 色々な状況があるので特に必要ないかと思う。 例年がわからないのですが今年はコロナの影響で難しいのではないかと思います。 保護者会等は特にないと認識している。	今後も保護者同士が交流がもてる場を今より以上に設けていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作成し、契約時には苦情窓口の説明をしています。苦情があった時には内容を記録し、重要事項説明書に掲げる手順に従って対応することになっています。	「はい」10人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」0人 「わからない」23人 特に苦情などないため。 苦情を言ったことがないのでわからないとさせていただきます。 苦情に繋がるようなことがこれまでに特にない。	苦情があった場合には、迅速かつ適切で丁寧な対応を心がけていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者とは連絡帳や定期的な面談、送迎時での申し伝えや必要であれば個別での電話連絡で意思疎通を図るようにしています。言葉での情報よりも視覚的な情報の方が理解しやすい子どもには絵カードや写真などで対応しています。	「はい」31人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」0人 「わからない」2人 子どもの問題点を子どもの聞かれないうちに配慮してくれるのがよい。	今後も個々に合ったコミュニケーション方法の見直しを行いながら工夫して進めていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	みらいのホームページやフェイスブックなどで不定期だが活動やイベントを掲載しています。	「はい」17人 「どちらともいえない」4人 「いいえ」0人 「わからない」14人 毎回、終了時に先生方が言ってくれている。 ホームページまでチェックできていませんでした。 ホームページや掲示物で発信されている。	掲載する回数が少ないので今後は積極的に活動の発信を増やしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については必要な時以外は施錠した場所で管理しています。	「はい」30人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」10人 「わからない」3人 取り扱いが雑と感じたことはない。	今後も徹底して個人情報の保護に努めます。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全てのマニュアルを作成しています。契約時には重要事項説明書と共に別紙で説明しています。	「はい」22人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」1人 「わからない」10人 今年はコロナ対応があった為、変則的で事業所も大変だったと思います。契約時に説明があったと思う。	大切なお子様を安心安全に預かるために様々なことを想定し、対策を考えていきます。
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年間計画を基に年に2回、防災週間を設定し、職員は避難訓練と地震訓練を実施しています。	「はい」8人 「どちらともいえない」2人 「いいえ」1人 「わからない」23人 実施されていると思いますが参加したことがないためわかりません。訓練が行なわれているかわからない。	児童にも分かりやすい内容の訓練を取り入れていきます。
3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1度、ガイドラインに沿って虐待防止の研修をし、職員の倫理観の向上に努めています。		今後も引き続き研修の機会を設けていきます。
4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用者サポートブックにアレルギーの有無、アレルギー物質を保護者に記入してもらい、安心安全に活動できるように職員全員で情報を共有しています。		今後も引き続き、保護者様から聞き取った内容を元に、十分な配慮を心がけていきます。

非常時等の対応

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	そのような事案があった場合は、ヒヤリハットを作成後、職員全員で回覧し、情報共有をしています。子どもの発達段階ごとによく起こる事故の傾向を知る事で事前の対策をとるようにしています。		回覧・会議等での情報の共有を心がけていきます。